



えいしん  
**松丸 瑛心さん** (16歳・下高崎)

県立五城目高等学校2年、山内番楽保存会所属。町に古くから伝わる舞踊である「山内番楽」の踊り手として、毎年5月に行われる競演会に向け日々の練習に励んでいます。

**伝統文化の担い手として  
自ら歴史をつなぐ**

小学3年生の学習発表会で番楽の魅力に触れたことをきっかけに、小学4年生から地元のこども番楽教室に通い始めたという松丸さん。高校に進学してからは山内番楽保存会に所属し、こども番楽教室に通う小中学生と共に日々の練習に励んでいます。コロナ禍の影響で教室は4年ほど休止していましたが、今年から、4年ぶりの開催となった五城目神明社での番楽競演会に向けて練習が再開されました。

松丸さんは、今年5月に行われた51回目の競演会で、熊谷次郎直実と平敦盛との一騎打ちの場面を表現した「二人舞」を披露。練習ができない期間が長かったことに加え、自

分の演目が急きょ変更となったこともあり、不安な要素が多かったのですが、本番までの短い期間の中で着実に練習を重ね、勇壮に舞う姿を見せることができました。

来年の競演会では、刀が激しくぶつかり合う「曾我兄弟」や長刀を使う「熊谷敦盛」といった演目を披露したいという松丸さん。過去に先輩たちが披露してきた様々な演目に積極的に挑戦することで、さらなる高みを目指します。

自らが踊り手となることで、歴史を受け継ぐことの大切さを実感できることが番楽の魅力だと語る松丸さん。一方で、後継者不足が大きな課題だと言います。コロナ禍以前には10人以上いたこども番楽教室は、今年から3人に減少。また、指導者

の高齢化などもあり、伝統を継承していくことの難しさに直面しているそうです。松丸さんは、「番楽は、約500年の歴史と伝統を誇る五城目町の文化なので、自分が踊る姿を通じて、この魅力を少しでも多くの人々に伝えたい。興味のある方がいれば、番楽継承の担い手として一緒に盛り上げていきたい」と話していました。



**YOUNG!**  
**がんばる!ヤング**  
若者の元気は町の元気!  
部活動などをがんばる  
高校生や大学生を紹介します!  
30

ふるさとを想う

4年ぶりに開催の神田祭に参加

矢尾 牧 夫 (五城目一中15期卒)

ふるさと五城目会は5月13日に、4年ぶりの開催となった神田祭に参加し、千代田区との姉妹都市交流に努めました。当日は、午前から高澤博彦会長以下5人の会員が佐竹稲荷神社前に整列し、半田龍子副会長や理事の皆さんら計7人が応援に駆けつけてくれました。祭の準備は、会長が懇意にする神田旭町の方からお借りしたお揃いのねじり鉢巻きは、はんでん・足袋で粋に整え、ちらつく小雨をものともせず出陣しました。

五城目町と縁深い神田旭町の神輿は豪華で、ずっしり重く肩に食い込みました。若い会員を中心として、皆で一生懸命に神輿を担ぎ上げ、午後6時に帰還するまで奮闘しました。体は雨と汗で濡れ、精魂は使い果たしましたが、徳川家康に由来する伝統行事なので、「さあ、どうする!」と気合の入る声が聞こ



神田祭に参加した会員のみなさん。一番左が矢尾さん。



5月に行われた日帰りレクの様子。

えてきそう、手は抜けませんでした。さらに当日は、神田地区8つの町会が自慢の神輿を繰り出して激しく競い合い、会場の盛り上がりは最高潮に! 私たちが担ぐ旭町の神輿も見事に躍動しました。神田祭は、江戸時代から続く町人の晴れ舞台であり意地の見せ場です。皆が神輿を担ぎながら町を練り歩く姿は、濃い歴史を感じる光景でした。この度、姉妹都市交流として神田祭に参加できたことに幸せと誇りを感じました。

ふるさと五城目会は、首都圏お住まいの同郷の皆さまの心よりどころになるよう活動を続けております。5月18日には茨城へ日帰りレクを実施し、仲間との絆を深めました。当会は、多くの方の参加を心からお待ちしております。どんなことでも楽しく話し合える、人生経験豊富な仲間たちが笑顔で待っています。さあ、若い皆さんも一緒に、ふるさとの話をしましょう! 8月15日の『きやどっこまつり』には、当会のブースを出店する予定です。是非お立ち寄りください。

す。さあ、若い皆さんも一緒に、ふるさとの話をしましょう! 8月15日の『きやどっこまつり』には、当会のブースを出店する予定です。是非お立ち寄りください。

祖父母と日本の魅力を堪能

ゾーイの  
ごじょうめ日記



**Zoe Fell** (ゾーイ・フェル)  
イギリス・パークシャー出身。  
昨年8月から、町の外国語指導助手  
(ALT)に着任しました。

Hello Gojome Town, Recently, my Grandparents came to Japan for the first time! I felt so happy to see them. I went to Kyoto and Tokyo with them. We saw many things such as kinkakuji temple, the arashiyama bamboo forest and a traditional tea ceremony. I took them to a kaiseki meal, and they made friends with local people at an izakaya! My Grandad especially enjoyed drinking Japanese beer! My Grandparents also went to Mt.Fuji. I think they got some good pictures! We had a wonderful time together. My Grandparents have travelled across the world, but they were really impressed with Japan, Japanese culture and how kind everyone is. It made me feel lucky to live in this country! Until next time, Zoe.

五城目のみなさんこんにちは。先日、祖父母が初めて日本を訪れました。2人に会うことができるともうれしかったです。祖父母とは京都と東京に行き、金閣寺や嵐山の竹林、歴史ある茶道といった、たくさんの魅力を堪能しました。また、2人を懐石料理の店に連れていったところ、居酒屋で現地の人々と仲良くなっていました! 祖父は特に、日本のビールが気に入ったそうです。2人は富士山にも行ったそうで、そこでは素敵な写真が撮れたことだろうと思います。祖父母と一緒に過ごすことができるとも楽しかったです。2人は世界中を旅してきたのですが、日本の文化や優しい国民性に本当に感銘を受けたそうです。それを知って、この国に住むことができるとも幸せに感じました。またお会いしましょう。



ごじょうめの  
**文芸**



「短歌」  
耳病めるわれに向かひてものを言ふ  
仁王の顔のあはれ親しも  
大川 小熊 正明  
母子三人亡夫の命日の墓参り  
この季のもの山の菜供う  
西磯ノ目 小玉 明子  
この後はいくたびなるや高齢の  
講習受けて初心にかへる  
岡本 大石 政子  
「俳句」  
晩年によき友を得て新茶汲む  
昭辰町 本間 富子  
若葉雨迷いて広し干拓地  
高崎 館岡 絢  
交わりて好みの色や濃紫陽花  
畑町 本間 恵子  
「川柳」  
雲遠く花見日和に畑仕事  
乙市 いとう由海  
シンプルに生きて五感の若返り  
西野 佐藤ちずる  
標的が視野から消える臘月  
川崎 桜庭 湖風  
遠回りしたから見える人間味  
新畑町 渡辺 松風